令和４年度第３回　沼津市地域包括支援センター運営協議会
令和４年度第３回　沼津市地域密着型サービス運営委員会
会議録

日時：令和５年３月 16 日（木）14：30
場所：沼津市役所　水道部１階Ｂ会議室
Ｗｅｂ開催

記

【出席者】
◎委員：９名
　石川会長、山口副会長、福原委員、飯島委員、横井委員、
　平田委員、和田委員、福田委員、岩﨑委員

◎事務局：９名
　高橋課長、遠藤課長補佐、北畠係長、稲田係長、佐藤、加藤、坂井、島岡、杉山

はじめに

会長あいさつ

※進行の関係上、地域密着型サービス運営委員会から協議

令和４年度第３回沼津市地域密着型サービス運営委員会

協議事項

１　地域密着型サービスの指定状況について

地域密着型サービスは、認知症高齢者や要介護高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、平成 18 年度の介護保険制度改正で作られたサービス類型である。

【地域密着型サービスの指定状況について】

（資料１）

・前回の運営委員会以降の事業所数の増減なし。

・更新事業所 5 件･･･　デイサービスあい、デイサービスこころ沼津大岡
デイサービスみのり、認知症デイサービスこすもす原
グループホームこすもす原

総事業所数 93 件

（資料２）

第 9 次沼津市高齢者保健福祉計画に基づく施設整備事業予定者の選定状況は、公募の実施を行っていない。

【●委員からの質問・意見／〇事務局からの回答】

特になし。

２　地域密着型サービス事業者の新規指定について

・地域密着型特別養護老人ホーム「地域密着型介護老人福祉施設　柏葉尾苑」
　令和５年４月１日事業開始予定　（１ユニット…14 名及び 15 名　定員 29 名）
　住所…沼津市大岡 3947 番地の１
　指定申請者…社会福祉法人　駿河厚生会
　本体施設は、特別養護老人ホーム「沼津フジビューホーム」でサテライト型居住施設
　※サテライト型居住施設…本体施設と密接な連携をとり、別の場所で運営する施設
　　本体施設に配置され、かつ密接な連携が可能な場合、医師や栄養士の配置が不要となる等の要件緩和。
・認知症高齢者グループホーム「グループホームふれあい下香貫」
　令和５年４月１日事業開始予定　（定員 18 名）　木造２階建て
　住所…沼津市下香貫揚原 651 番地の２
　指定申請者…株式会社在宅支援センターふれあい
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護「あしたかホーム巡回型ホームヘルプサービス」
　令和５年４月１日事業開始予定
　住所…沼津市東椎路 1639-1　地域密着型特別養護老人ホームプレーゲあしたか内
　指定申請者…社会福祉法人　春風会
　連携先の訪問看護は、プレーゲ訪問看護リハビリステーション

【●委員からの質問・意見／〇事務局からの回答】

●石川委員長・・小規模特養は沼津市民のみの利用となる。小規模特養を運営してくれる法人はなかなかなく、今回、社会福祉法人駿河厚生会が運営してくださるので心強く思っている。地元の法人が頑張ってくれると住民もうれしいと思う。一方で、介護人材集めが厳しく、外国人や技能実習生の雇用が多くなっている。
株式会社在宅支援センターふれあいについても、沢山のグループホームを経営しているのでよい事業所を運営していただけると思う。
社会福祉法人春風会で実施する定期巡回は採算が厳しく、運営が難しいサービスだが、在宅医療連携の大きな基盤として地域を支えていければと思っている。

●山口委員・・・こういったサービスを運営してくださる事業所があるのはありがたいと思う。

●平田委員・・・サービスが増えるのはケアマネとしてもありがたい。定期巡回サービスは西側になかったため、利用者が使うサービスの選択肢が増えると思う。

令和４年度第３回沼津市地域包括支援センター運営協議会

協議事項

１　令和４年度ヒアリング実施報告について（資料１）

令和５年１月 16 日から１月 31 日の間でヒアリングを実施。

・業務評価について

国が行っている業務評価は自己評価のみを実施しているが、事業ごとの評価がどのように結果・効果が出されているのか客観的な評価で難しいため、沼津市は独自の自己評価を実施し、各地域包括支援センターの取り組みを確認している。

令和４年度も新型コロナウイルス感染症の状況ではあったが、各地域包括支援センターでの連携体制の構築、専門職の質の向上のための研修等を実施し、工夫をして業務に取り組んでいることがわかった。しかし、一部の地域包括支援センターで職員が変更し経験不足のため評価が低いところがあったが、現状を把握し、問題解決に向けて理解し基幹型とも共有して取り組んでいる。

おおむね各地域包括支援センターの業務は、問題なく行われいることを確認できた。

＜気になる点＞

・三浦・戸田地域包括支援センターは、一昨年度から日頃の業務運営にあたり、民生・児童委員、生活支援コーディネーターとの連携をとり、資質向上のために助言・指導を時間をかけて行い改善されてはきているが、ほかの地域包括支援センターに比べ未だに全体的に低い。当地域包括支援センター自体が運営状況等の危機感を持っておらず、今後も市で指導等取り組んで行くところであるが、今後の状況によっては他の委託先を検討したいと考えている。

【●委員からの質問・意見／〇事務局からの回答】

●山口委員・・・三浦・戸田地域包括支援センターの評価資料について
自己評価と行政評価との差がある。行政評価が低い。
評価後、研修や指導は予定しているのか。

〇事務局・・・・地域ネットワーク、包括ケアマネジメントが低い。職員が変更されたことも一因だが、まだ質が低いので質の向上をしたいとは思っている。
3 年間行った中で向上が難しいため、別のアプローチも検討中。
引き続き指導は継続したい。

●石川委員長・・主任ケアマネのなり手が少ない。
主任ケアマネに担当する人を配置するようにとの動きも国がしてきている。三職種の確保が重要。

協議事項

２　令和５年度沼津市包括的支援事業業務委託の仕様書について（資料２）

令和５年度沼津市包括的支援事業業務委託の仕様書は資料のとおりである。

令和４年度との大きな違いはない。

３　職員の配置等

⑴　職種別配置人数のところ

「また、センター長は、上記⑴の中から選任すること。」を記載。

なお、はら地域包括支援センターと片浜・今沢地域包括支援センターには、市営住宅出張相談窓口業務、千本地域包括支援センター・かぬき地域包括支援センター・三浦・戸田地域包括支援センターは、各支所の相談業務を行うことを記載。

【●委員からの質問・意見／〇事務局からの回答】

●石川委員長・・三職種で仕事を振り分けないと機能できない。連携が必要になってくる。年々仕事が増加、オーバーワークにならないような振り分け、周りのサポートも必要である。

次回、令和５年度第１回　沼津市地域包括支援センター運営協議会

令和５年５月 25 日開催予定。